

令和7年度 大館市立花岡小学校 学校評価書（ 前期 ・ 年度 ）

A 学校教育目標

自立した子どもを育てる	
めざす児童像	チャレンジングな子 心身共に健やかな子 人を大切にする子 学びを楽しみ、広げ、深める子 保護者・地域との連携

B 本年度の重点目標

◎ 課題対応能力の育成

C 学校経営の特徴

◇課題対応能力を育成する学校行事、児童会活動(チャレンジ活動) ◇明るく楽しい学級づくり ◇チャレンジ授業とベーシック授業 ◇開かれた学校づくり



【（株）大森土木とタイアップしたクリーンアップ活動】



【地域社会に貢献する活動やSDGsの取組について学んだエコシステム花岡（株）の全校見学】



【防犯教室（不審者対応訓練）】



【学校医から「心と体の健康」について学んだ親子学習会】

D 評価

アンケート回答者 保護者22名、 児童4、5、6年生16名、 教職員9名

自己評価A と外部評価 の評価区分	きわめて良好	自己評価B の評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100％以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99％達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79％達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59％達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39％以下の達成

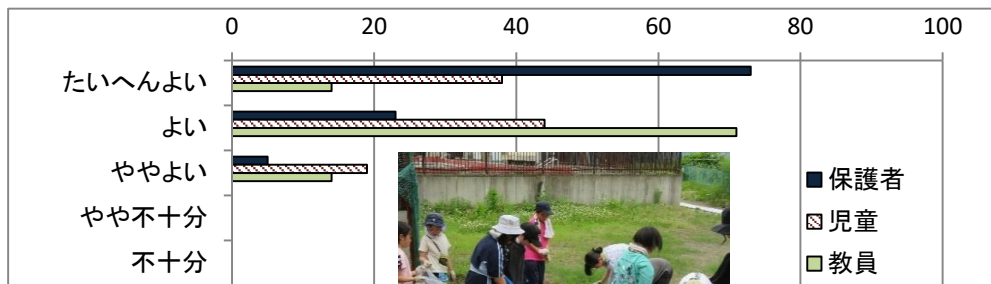
I チャレンジな子どもの育成

		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
		前期	良好	良好
挑戦意欲をもち、連携する力と創造性を発揮しながら主体的に活動する子どもを育てている。	前期	良好	良好	「チャレンジする」という意識が児童一人一人に浸透しており、花岡小の大きな特徴として定着している。地域素材を意図的に活用できており、もっと高く評価してよい取組といえる。集団としての取組は素晴らしいが、児童個人がどうチャレンジしてどう変容したか、個に返していっそう力を付けられるようにしてほしい。
	年度			
自己 学 校 評 価 改 善 の 概 要 と	【前期（→年度）】	6年生が企画しているチャレンジ活動の実現を目指し、全校児童が協力して取り組んでいる。地域資源である鳥潟会館が国の名勝に指定されたというタイミングを生かし、「花岡のよさを広く伝えたい」というねらいを共有して活動していくことで、児童自身が改めて鳥潟会館のもつ歴史や魅力に気付くことができている。学校外の人と関わった際に積極的に自己発揮できないという本校児童の実態があるため、この活動をよい機会の一つとして捉え、児童の自信につなげられるように支援をしている。そうした中で、6年生のリーダーとしての自覚や課題解決の過程での成長が見られ、それが他学年にもよい影響を及ぼしている。例えば1・2年生の七夕交流会、3年生のアルミ缶活動、4年生の大森土木さんとのクリーンアップ活動、4・5年生の自然教室など、各学年の発達の段階に応じながら、それぞれがリーダーシップやフォロワーシップを発揮し、活動を進めることができた。今後も一歩踏み出す勇気と相手意識をもって、主体的に活動できるよう、日々の言葉掛けを工夫したり、行事のミーティングや事前・事後指導を大切にしたりしながら、日常化を図っていききたい。		
	【年度（→次年度）】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
I チャレンジ精神の高揚	(1) チャレンジ活動（学年・全校）の推進と充実	課題対応能力育成のための各学年及び全校の実践	4	
	(2) 創造性・連携する力の向上	創造性・連帯感を向上させる各種ミーティング 学級の係・委員会活動等の児童会活動 SDGsへの取組		

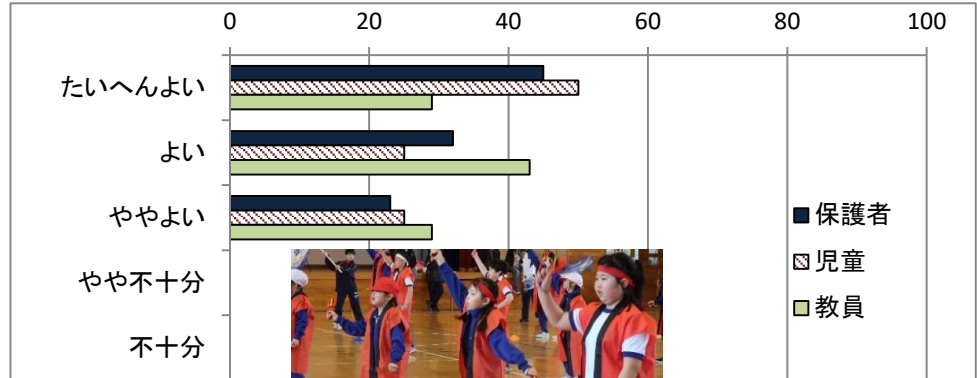
【Iに関するデータ】

○いろいろな活動に、助け合い、支え合いながらチャレンジしているか。
（平均値 保護者4.68 児童4.19 教員4.00）



【3年 アルミ缶回収活動】

○いろいろな行事で、充実感を味わい、自分のよさを発揮できているか。
（平均値 保護者4.23 児童4.25 教員4.00）



【運動会「よさこいソーラン」】



【児童総会で今年度のチャレンジについて提案】



【高学年が低学年に伝授するよさこいソーラン】



【4・5年生 自然教室での活動を振り返るミーティング】



【花岡版子どもハローワークで司書体験】

皿人を大切に
 する子どもの育成

		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	良好	良好	子どもたちの仲のよさが、授業参観や児童のヒアリングから分かり、うれしかった。評価書の写真からも、丁寧な取組からの積み重ね効果がみられる。児童の評価に比して、教職員の評価が辛めなのは、もっとできるはずだとの思いと捉えたい。後期の取組に期待したい。
規 範 意 識 を も っ て 、 自 他 の 心 や 人 間 関 係 等 を 大 切 に する 人 間 尊 重 の 精 神 を 育 っ て い る 。	年度			
自 己 評 価 の 改 善 策 と	【前期（→年度）】	6年生を中心としたチャレンジ活動の成功を目指し、全校児童、全職員が同じ方向を向いて計画・準備に取り組んだ。児童が何度も話し合いを重ねる中で成長していく様子が見られた。3年生の「アルミ缶回収活動」や4・5年生の「自然教室」など、各学年に応じた校外学習や体験活動も充実していた。「成功させたい」という意欲が高まっている一方、「主体的に考えること」や「相手意識をもって活動に取り組むこと」など、課題も見付けることができた。矢立小との交流授業では、自分たちも交流を楽しみながら、司会を務めたり、言葉で説明したりして、矢立小の子どもたちを楽しませようとがんばっていた。各学級における各行事の事前指導により、来校者への態度や礼儀を身に着けてきているところである。よさこいソーランの練習や縦割り班活動では、高学年が低学年を気遣う様子も見られ、良好な人間関係がうかがえた。課題の克服や、良さを生かすためにも、行事やイベントの時だけでなく、日々の学級経営の中で意識しながらさらに繰り返し指導を継続していきたい。		
	【年度（→次年度）】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3 人間尊重の精神	(5) 集団の一員としての自覚ある言動	縦割り班活動・委員会活動・学校行事等での活動	4	
	(6) 明るさ・活力・自他を大切にする学級づくり	学級指導・学級活動の充実		

【2に関するデータ】

○集団の一員として自覚ある言動をしているか。

(平均値 保護者4.32 児童4.50 教員4.14)

評価	保護者 (%)	児童 (%)	教員 (%)
たいへんよい	45	55	15
よい	42	85	85
ややよい	15	10	0
やや不十分	0	0	0
不十分	0	0	0

○明るく活力ある学級づくりが行われているか。

(平均値 保護者4.32 児童4.56 教員3.71)

評価	保護者 (%)	児童 (%)	教員 (%)
たいへんよい	40	70	15
よい	50	20	45
ややよい	10	10	45
やや不十分	0	0	0
不十分	0	0	0

【高学年から低学年へ
よさこいソーランの伝授】

【矢立小との交流授業】

【4・5年 自然教室でのPA】

【全校チャレンジ活動に向けて
6年生が進めた代表者会議】

【縦割り班での体力テスト】

【花壇の苗植え作業】

IV 学びを楽しみ、広げ深める子どもの育成

		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
内発的動機付けに支えられた学びを楽しむとともに、互いの考えを共有したり多角的に考えたりするなど、学びを深める指導を行っている。	前期	良好	良好	複式学級の指導法が確立しつつあり、効果的な学習の様子が見られてよかった。花岡小は、学びのハード面（複式の指導法、地域素材や人材、図書館などの社会教育施設）はよいものが揃っている。それを積極的に生かし、学ぶ意義を児童に落としこんで、自発的に学ぶ児童を育ててほしい。
	年度			
自己校評の価値改善概要と	【前期（→年度）】			
	4月に「学習の約束」「学び方」について職員と児童とで共通理解を図り、定着に向けて共に頑張ってきた。授業についても研究主任による提示授業を皮切りに授業研究会を複数回実施し、職員同士で授業力向上に努めてきた。読書活動では、花矢図書館とミラクルバナナさんに読み聞かせを実施していただいたり、花矢図書館から定期的に本を貸し出していただいたりして、本と触れあう機会を増やすように努めてきた。これらの取組について、児童が高い評価を出したことは大変嬉しく、職員にとって今後の大きな励みとなった。これからも児童と共に学び、共に成長できるように取り組んでいきたい。			
	【年度（→次年度）】			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 基礎・基本の定着	（7）基本的な学習習慣の定着	「学習の約束」「学び方」の徹底	4	
	（8）基礎・基本の徹底と学習内容の定着	基本を徹底する授業（ベーシック授業）		
5 学びの多面化・深化	（9）多様な学びの保障	主体的に学び合う授業（チャレンジ授業）	4	
	（10）読書活動の充実	図書館まつり、各種読み聞かせ、読書運動等		

【4に関するデータ】

○基本的な学習習慣が定着しているか。
（平均値 保護者3.91 児童4.38 教員4.00）

○計算、漢字、読み書きなど、学習の基本が身に付いている
（平均値 保護者3.91 児童4.31 教員4.00）

【子ども同士の学び合い】

【矢立小とオンライン授業】

【研究主任による提示授業】

【ミラクルバナナ読み聞かせ】

【5に関するデータ】

○学び合いの充実が図られているか。
（平均値 保護者4.18 児童4.56 教員3.86）

○読書活動が推進されているか。
（平均値 保護者4.05 児童4.56 教員4.57）

V 保護者・地域との連携

学校の取組がわかりやすく 保護者や地域に伝えられ、 地域の教育力が有効に 活用されている。		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
	前期	良好	良好	地域連携の緊密さは、花岡小の強み。児童からも「地域の人に感謝の気持ちを伝えたい」などの言葉が自然に出るのが素晴らしい。地域住民、企業、保護者、学校が連携して、花岡小の児童を健やかに育てられるよう、今後も取り組んでもらいたい。
	年度			

自己 校評 の価 改の 善概 策要 と	【前期（→年度）】 ブログは、各活動後にその都度写真を添付の上送信し、子どもたちの様子を知らせている。保護者アンケートには「子どもの様子が伝わってきており、うれしい」という記述があった。学校報や学級だよりも、地域や保護者に子どもの様子や予定が伝わる内容を工夫していきたい。今年度も、地元企業との交流や見学、クラブ活動、花岡版子どもハローワーク等、子どもたちの活動にお力添えをいただき、地域の皆様には感謝したい。今年度は、市のふるさとキャリア教育推進の基盤として、「心震える体験」「カッコいい大人との出会い」が挙げられている。その意味でも、秋田工営（株）との交流で、地元のヒーロー「コウライザー」の講話から地域を支える思いを聞いたり、企業の方と交流しながら電気工作キットの製作やドローンの操縦を体験できた体験は有意義であった。児童数の減少により、釈迦内保育園や向陽こども園との交流、花岡版子どもハローワークでは、持続可能な進め方を模索しながら行っている。今後も、地域の実情など考慮しながら、地域と関わる活動を大事にしていきたい。
	【年度（→次年度）】

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 情報の受発信	(11)各種たより等の充実と学校開放	学校報・学年だより等での発信 HPの定期的な更新 学校開放や保護者アンケートでの受信	4	
7 地域との連携	(12)地域に対する愛着心や誇りを高める実践	学習・クラブでの人材活用 花岡ピカキラ鳥潟会館ツアー！ クリーンアップ（ハッピーアップ大作戦！） 地域探検、職場体験、花小子どもハローワーク等 「保小中」間での連携	4	

【6に関するデータ】

○学校報、学年だより、各種のおたよりは充実しているか。
（平均値 保護者4.09 児童4.38 教員4.43）

【7に関するデータ】

○地域人材の活用、愛着心や誇りを高める実践がなされているか。
（平均値 保護者4.27 児童4.38 教員4.57）

【民生児童委員との公民館窓拭き作業】

【秋田工営：電気工作キット作り体験】

【地域のヒーロー「コウライザー」の講話】